

鈍

ドン
にぶい・にぶる

12画
金 鈍 鈍 鈍 鈍

なりたち 物の初めの意味の鈍と金との会意形声字。金属がまだよく鍛錬されず、なまくらの状態にあることを表した字。刀のきれないこと、にぶい意味に用いる。



いみじゆく
▼切れ味が悪い。にぶい。
鈍感：感覚がにぶい。【用例】あの人は鈍感な人だ。【反】敏感

鈍器：①切れ味が悪い刃物。【反】利器 ②人を殺すために使われた重いもの。

鈍才：才能の劣った人。
鈍重：にぶくてのろいこと。

鈍根：生まれつき才知のにぶいこと。また、そのような人。

愚鈍：おろかだにぶいこと。
遅鈍：動作が遅く頭の働きのにぶいこと。

▼とがっていない。
鈍角：九十度を越え、百八十度より小さい角。【反】鋭角

▼色があざやかでない。
鈍色：うすずみ色。濃いねずみ色。にび色。

よみかた 鈍行・鈍物・利鈍

鈍純

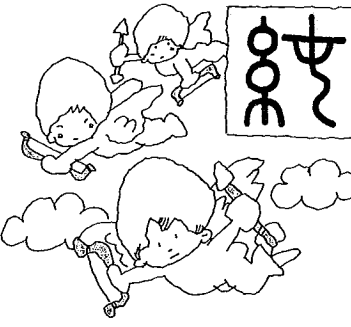
純

ジュン

〔6年〕

10画
糸 糸 糸 純

なりたち 屯と糸との会意形声字。まゆから取り出されたばかりでまだ加工されない状態の糸という意味の字。生糸、転じて、広く飾らない・まじりけがない意味に用いる。



いみじゆく
▼まじりけがない。ありのまま飾りやうそがない。
純粋：①まじりけがないこと。②考えや行動に打算がないこと。【用例】純粋な人。

純真：うそやかざりけがないこと。【用例】純真な心。

純情：けがれない素直な心。一途な愛情。

純金：まじりけのない金。
純血：純粋な血統。異民族や異種の動物の血が混じっていない血すじ。【用例】純血種のサラブレッド。

純文学：純粋な芸術性を目的とした文学。

清純：清らかでまじりけがないこと。また世の中のけがれにそまっていない様子。

よみかた 純益・純化・純潔・純然・純度・純白・純良・単純・不純

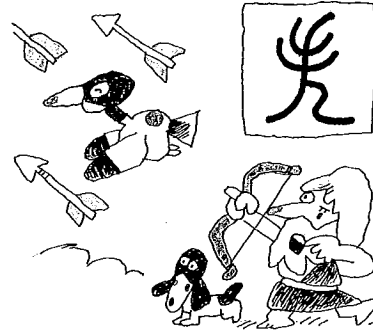
失

シツ
うしなう

〔4年〕

5画
ナ 失 失

なりたち 逸（のがれる）の意味の乙と手の会意形声字。手から逸するといふ意味の字で、うしなうことを表した。音のシツは手の頭韻とこととを合わせたもの。



いみじゆく
▼うしなう。うせる。【反】得
得失：得ることと失うこと。
【用例】得失を考慮する。

失業：仕事を失うこと。
失明：目が見えなくなること。
▼あやまち。しくじり。

失敗：やりかたがまずかったりして目的を遂げられないこと。【用例】失敗は成功のもと。【反】成功

敗策：やりかたを間違えて失敗すること。
失火：あやまって火事を出すこと。また、その火事。

失笑：おかしくて思わずふき出してしまうこと。
過失：（そうするつもりはないのにしてしまった）あやまち。【用例】過失致死

よみかた 失意・失格・失言・失効・失職・失神・失速・失態・失念・失望・遺失・焼失

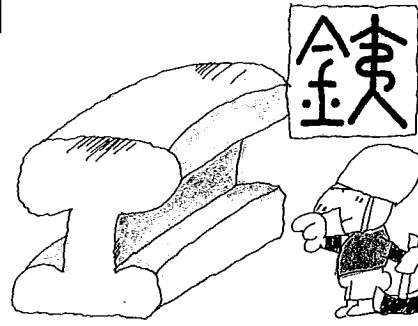
鉄

テツ

〔3年〕

13画
金 金 鉄

なりたち 旧字は鐵で、戈（て）を作る金属という意味の会意形声字。鉄は、徹（貫きとおす）の意味の失と金との形声字と見ることができ。



いみじゆく
▼てつ。
鐵道：鉄のレールの上を走る車両で人や貨物を運ぶ交通機関の総称。

鉄条網：とげのついた針金を幾重にも、はりめぐらした柵（さく）。

鉄筋：コンクリート建築のしんに入れる鉄棒。転じて、鉄筋を入れたコンクリート建築をいう。

▼鉄のように堅くて強いもの。
鉄則：曲げることのできないきびしい規則。

鉄面皮：面の皮が鉄のように厚く知らずであること。

▼刃物。武器。
寸鉄：①小さい刃物。【用例】寸鉄もおびす。②（武器を全く持たず。②）短いが人の心を強く打つ言葉。

よみかた 鉄格子・鉄骨・鋼鉄

失鉄